

ドラマにみられる 呼びかけ表現の日韓比較

—韓国ドラマ「冬のソナタ」を例に

呉秀賢

✦要旨

本研究では比較的似ているといわれている日本語と韓国語において、呼びかけ表現にどのような違いがみられるかを分析、考察する。これまでの先行研究では、日本人と韓国人を対象に同じ項目のアンケート調査をし、それらを分析して日韓呼びかけ表現の異同を比較し、個性や共通性を分析、考察したものが主であった。本研究ではある特定のシナリオ集を言語データとして用いて、同じ場面での日韓両言語における呼びかけ表現の相違点、共通点を調べた。その結果、①両親への呼びかけ表現は、韓国語では男女差の違いがみられるが、日本語では男女差がみられない、②非日常生活では日本語の場合は職業名が、韓国語の場合は親族名称が多く用いられる、③職場での呼びかけ表現は日本語では職業名が、韓国語では親族名称が多く用いられる、などの特徴が明らかにされた。

✦キーワード

呼びかけ表現、親族名称、職業名、
日韓対照研究

✦ABSTRACT

This study is contrast study about the forms of address of Japanese and Korean. As for the conventional study, questionnaire survey was the mainstream. In this investigation, examine a difference of Japanese and the Korean based on a scenario. A common point and the difference in such a situation is as follows. In case of call parents, Korean was seen open palanquin difference but Japanese was not seen. In case of call other peoples in unusual life, Japanese was used the name of an occupation and Korean was used much Family-member nomenclature. In case of call in the workplace, Japanese was used the name of an occupation and Korean was used much Family-member nomenclature. The above-mentioned characteristic was examined.

✦KEY WORDS

forms of address, Family-member nomenclature, the name of an occupation, contrastive study of Japanese and Korean

Japanese-Korean Comparison of
the Forms of Address Expression
Appeared in a Drama
Korea drama “Winter Song of Love” for an example
OH SOOHYUN

1 はじめに

よくいわれるように言語は他者とコミュニケーションをとるための道具であるが、その内実は多種多様であり、言語接触の場面ではさまざまなバリエーションが存在する。コミュニケーションをとる際には、話し手と聞き手の間で「何を」伝達するかという情報内容と、情報内容を「いかに」伝達するかという伝達方法が必要とされる。後者の「伝達方法」は伝達素材、対象である「情報内容」とは異なり、伝達される命題が同じであっても、話し手と聞き手の社会的関係によって、異なる表現が当然ながら用いられる。ここでいう社会的関係とは、南(1979)が7つに分類した人間関係における上下関係と、ひとまず見なしてよいであろう^[註1]。すなわち1) 身分的上下関係、2) 生得的上下関係、3) 経歴的上下関係、4) 役割的上下関係、5) 差別的上下関係、6) 能力的上下関係、7) 立場的上下関係である。このような話し手と聞き手のさまざまな場面での社会的関係を反映する代表的なものの一つとして呼びかけ表現がある。

呼びかけ表現の選択は、これらの社会的関係を背景にして対話者間関係を特定化することもあればそうでない場合もある。呼びかけ表現は、同一人物であっても性別、年齢、職業、血縁関係、親密度などの選択対象の因子によって選択内容も変容することになる。見方を変えれば、当該人物の社会的背景や文化・習慣によって異なる呼び方の体系が存在するともいえよう。呼びかけは、声をかけて呼びかける「言語的表現」と、肩を叩いたり、手招きなどをしたりして呼びかける「非言語的表現」の二つに大別される。本稿では「言語的表現」を中心に考察する。

これまで筆者は直接、日本人と韓国人に同じ項目のアンケート調査をし、それらを分析し、日韓両言語における呼びかけ表現の比較を行ったが、本稿ではシナリオ集をもとに同じ場面での日韓両言語における呼びかけ表現の違いを調べることにする。今回の調査資料となるシナリオ集には言語表現において作者や翻訳者の個人的な性向がみられ、一般的な傾向をみるにはやや不十分な側面もありうるが、日常場面での観察に重要な手がかりを与えるものとして扱うことにしたい。

2 先行研究

日韓両言語における呼びかけ表現に関する対照研究は職場での呼びかけ表現が主で、代表的な研究者としてはキムハキョン(김하경 1999)、キムミジョン(김미정 1995)、ホンミンピョウ(홍민표 2003)、林・玉岡(2003)がいる。キムハキョン(김하경 1999)は、日韓両国の20代女性社員を対象にアンケート調査を実施し、職級を持たない女性への呼びかけを職種別に比較分析した。キムミジョン(김미정 1995)は日本と韓国の金融機関で勤務している計28名(日本大阪中央信用銀行12名、韓国大丘韓一銀行16名)を対象に自己記入式アンケートを実施し、両国の呼びかけに関する考察を行った。具体的には、業務に関する意見を問うなどの職場内と、会社の入り口付近で相手呼び止めるなどの職場外の場面を設定し、話し手と聞き手の社会的地位・年齢・性別による呼びかけの違いを明らかにした。ホンミンピョウ(홍민표 2003)は、日本と韓国の首都圏に所在する会社に勤務する20歳以上60歳以下の会社員338名を対象としたアンケート調査を実施した。林・玉岡(2003)は、呼びかけの「虚構的用法(fictive use)」(鈴木1973)について日本と韓国の職場に焦点を当てて検討した。聞き手を年上の先輩・同僚・後輩に区分し、当事者間における聞き手それぞれとの関係について親しい・親しくないという親しさの度合いと男女の性別の条件から、12種類の聞き手を設定し、アンケート調査を実施した。

職場での呼びかけ表現の比較以外に「夫婦間の呼びかけ表現の比較」や「学校での呼びかけ表現の比較」などもあるが、それらの調査方法は全てアンケートによるものである。調査方法においてもっとも適切に思われるのは、実際の場面での呼びかけ表現の収集であるが、日常会話では省略されることが多いことや観察にかかるさまざまな問題(時間・場面の設定など)から多くの研究がアンケートに頼っているものだと思う。しかし、アンケート調査は紙面やインタビューによるものが多く、その際に被験者は特定の質問に対して答えを一度考えることがあるため、実際の会話で用いられる表現と違ってくる可能性が生じる。また、会話中での自然な流れではないため不自然さが生じる可能性もありうる。

以上のことから考えると、今回のシナリオを用いた調査は「シナリオはあくまでもフィクションであり、現実の言語でない」という批判に対して、アンケート調査に比べると自然な会話の流れの中での呼びかけ表現といえるため意義があると思われる。

3 呼びかけ表現を構成する要素

呼びかけ表現を構成する要素は日本語と韓国語ではさまざまなものが考えられる。その中でもっとも多く使用されるものを取り上げるとすれば、1)「姓」、2)「名」(名前・名称)、3)「呼格助詞」^[註2]、4)「尊敬接辞」、5)「親族名称」、6)「呼びかけ詞」、7)「職名」、8)「あだ名」、9)「関係名称」^[註3]、10)「代名詞」、11)「職業名」などといったものであろう。

1)の「姓」は日本語では「山田」や「鈴木」など、韓国語では金(kim)、朴(park)などがあげられ(以下、例を示すときは日本語/韓国語順とする)、2)の「名」は「太郎」、「花子」/「철수(cheolsoo)」、「영희(younghee)」^[註2]、3)の「呼格助詞」は日本語にはない韓国語特有のもので名前の後ろに用いるものであり、名前の語尾が子音で終わるときは「야(ya)」を、母音で終わるときは「아(a)」をつけるのが普通である。4)の「尊敬接辞」は「姓」や「名」の後ろにつける「~さん」、「~ちゃん」、「~君」/「~씨(ssi)」、「~님(nim)」^[註3]などがあげられる。5)の「親族名称」は「おとうさん」、「おかあさん」、「おにいさん」、「おねえさん」/「아버지(abeoji)」、「어머니(eomeoni)」、「형(hyeong)」、「누나(nuna)」など本来は親族同士で用いることが多い呼びかけ語であるが、そうでないケースも多くみられる^[註4]。6)の「呼びかけ詞」は二つに分けられ、一つは「あのう」、「すみません」/「여기요(yeogiyo)」、「저기요(jeogiyo)」といった少し丁寧度の高い表現と「おい」、「ほら」、「ちょっと」/「야(ya)」といっただけ表現がある。7)の「職名」とは職場で用いられ、何らかの職位を持っている人に与えられているもので、「社長」、「課長」/「사장(sajang)」、「과장(kwajang)」などがあげられる。8)の「あだ名」は容貌、拳動、習癖などの人の特徴にもとづき、実名以外に他者によって名づけられた名称で「やまちゃん」といった名前を縮小したものや動物に例えたものなどがあげられる。9)の「関係名称」

は「先輩」、「後輩」/「선배(seobe)」、「후배(hube)」など聞き手と話し手の関係を表す表現である。10)の「代名詞」は人称代名詞のことで「あなた」、「きみ」、「おまえ」/「여보(yeobo)」、「당신(dangsin)」、「너(neo)」などがあげられる。11)の「職業名」は「運転手」、「駅員」/「기사(kisa)」などがあり、聞き手の職業を用いた表現である。これらには、双方の言語で対応しないケースもみられる。以上のものが単独、または複数のものが組み合わせられて多様な呼びかけ表現として用いられることになる。

これまでの調査をもとに、呼びかけ表現としてもっとも多く使用される要素を合わせてまとめたものが次の表1で、1)～11)を基本としながら実際に観察されたものが①～⑮のパターンである。

表1 呼びかけ表現を構成する要素

番号	組み合わせ	例—日本語	例—韓国語
①	名(+呼格助詞)	太郎φ	철수야/ya
②	名+尊称接辞	太郎さん	철수씨/ssi
③	姓+名	山田太郎	김철수
④	姓+尊称接辞	山田さん	김씨
⑤	姓+名+尊称接辞	山田太郎さん	김철수씨
⑥	呼びかけ詞1	あのう、すみません	여기(저기)요/yeogiyo
⑦	職名+尊称接辞	課長さん	과장님/nim
⑧	姓+職名	山田課長	김과장/kwajang
⑨	姓+職名+尊称接辞	*山田課長さん	김과장님
⑩	名+職名	太郎課長	철수과장
⑪	名+職名+尊称接辞	*太郎課長さん	철수과장님
⑫	姓+名+職名	山田太郎課長	김철수과장
⑬	姓+名+職名+尊称接辞	*山田太郎課長さん	김철수과장님
⑭	親族名称	お兄さん	형/hyeong
⑮	名+親族名称	太郎兄さん	철수형
⑯	姓+名+親族名称	*山田太郎兄さん	김철수형
⑰	呼びかけ詞2	おい	야/ya
⑱	あだ名	アヒル	돼지/deoji

㉑	姓	山田	*김/kim
㉒	関係名称	先輩	선배/seonbe
㉓	姓+関係名称	山田先輩	김선배
㉔	代名詞	あなた、おまえなど	너,여보,당신/neo,yeobo
㉕	職業名	運転手さん、駅員さん	기사님/kisa nim

日本語の場合：山田（姓）太郎（名）、韓国語の場合：김（姓）철수（名）／kim・cheolsooとする
*は日本語、韓国語として違和感を感じる不自然なものである。

4 本研究で扱うシナリオにみる人物像

今回の調査では、シナリオ集の会話に現れる呼びかけ表現を収集し、韓国語の場合と日本語の場合を比較した。ここで参照するデータは、『「冬のソナタ」で始める韓国語シナリオ対訳集』（キネマ旬報社2003）である。シナリオは多くの場面と登場人物によってストーリーが構成される。とりわけ、人物の年齢、職業、性別は人間関係を構成し、コミュニケーションをはかるうえで重要な要素となる。

会話の聞き手と話し手である主な登場人物は次のとおりである。

表2 シナリオの登場人物

㉖. カン・ジュンサン（男性）	㉗. チョンア（女性）
㉘. チョン・ユジン（女性）	㉙. キム次長（男性）
㉚. キム・サンヒョク（男性）	㉛. DJ（男性）
㉜. イ・ミニョン（男性、㉖のジュンサンと同一人物）	㉝. サンヒョクの父
㉞. オ・チェリン（女性）	㉟. サンヒョクの母
㊱. コン・チンスク（女性）	㊲. ユジンの母
㊳. クォン・ヨングク（男性）	㊴. ジュンサンの母
㊵. その他 警察官、バスの運転手、高校の先生、写真館の主人、キム班長、スンリョウン、医者 ⇒ 男性 民宿の主人 ⇒ 女性	

ここで若干の注釈を付け加えると㉖のカン・ジュンサンから㉗のクォン・ヨングクまでは高校の同級生であり、㉘のチョンアは㉘のチョン・ユジンの会社の同僚で年齢は㉘のチョン・ユジンより上で、㉙のキム次長は㉚のイ・ミニョンの会社の部下だが年齢は㉚のイ・ミニョンより年上である。ここで年齢に言及するのは後にみる韓国語の呼びかけ表現において年齢が大きな影響を与えるためである。

5 観察とその分析の結果

5.1 友達同士と親族間に対する呼びかけ表現

シナリオを観察してみると、実際には「呼びかけ表現」は省略されることも多いが、相手の注意を引きたいときや相手に感情的に訴える場合は必ずしも省略されるとは言い切れない。

以下の分析は後に付加した参考資料表3による。表3はシナリオにみられた呼びかけ表現を収集したもので、呼びかけ表現が現れた第1話から第20話までの場面、話し手（呼ぶ側）、聞き手（呼ばれる側）、韓国語、日本語をページ順に並べたものである。繰り返し出てくる同じ呼びかけ表現は省略してある。

今回の資料分析でもっとも多くみられた呼びかけ表現は友達同士のもので、表1の呼びかけ表現を構成する要素の①「名（+呼格助詞）」であった。友達同士では「名前」で呼ばれることが一般的であると思われる。しかし、友達同士でも場合によっては、例えば怒っているときや強調したいときは名前を用いた呼びかけ表現ではなく、③「姓+名」の呼びかけ表現が用いられることがわかった（表3の第1話参照）。（以下、例は場面/話し手⇒聞き手/日本語・韓国語（直訳・読み）/p.（ページ））

例1 バス停/ユジン⇒サンヒョク/サンヒョク!・상혁아（サンヒョク・sanghyeoka）/p.18
バス停/ユジン⇒サンヒョク/キムサンヒョク・김상혁（キムサンヒョク・Kimsanghyeok）/p.18

次に韓国語の㉗の「呼びかけ詞2」である「야/ya」も友達同士や目上の人

から目下の人に多く使われるが、日本語に翻訳される場合、それぞれの場面に合わせて「おい (21)、ほら (38)、ちょっと (14)」「()」の番号は参考資料表3の番号。以下同) など違った呼びかけ表現が使われる傾向がある (表3の第1話参照)。

例2 学校前/ユジン⇒ジュンサン/ちょっと・야 (ちょっと・ya) / p.19

また、恋人同士のサンヒョクとユジン両家の親同士の呼びかけ表現をみると、親達はそれぞれ固有の名前があるにもかかわらず、「ユジンのお母さん (111)、サンヒョクのお父さん (110)」のように⑤「(子供の) 名+親族名称」が用いられることが日韓で共通している (表3の第3話、第17話、第20話参照)。友達同士でも以前は①「名」で呼び合っていたとしても子供が生まれると自然に「(子供の) 名+親族名称」に変わることがわかる (例4)。ここで一つ注目したいことは、両家の親同士の呼びかけ表現が結婚式の準備の時である最初は⑭「おとうさま (47)、おかあさま (46)」だったのが、二人の結婚がダメになりお互いの関係が悪くなることによって、呼び方が変わってくることである (例3)。これは同じ人物でも親密度によって呼び方が変わることを裏付けている。

例3 式場/ユジンの母⇒サンヒョクの父/お父さま・사돈어른 (お父さま・sadoneorun) / p.56

喫茶店/ユジンの母⇒サンヒョクの父/サンヒョクのお父さん・상혁이아버님 (サンヒョクのお父さん・sanghyeokiabeonim) / p.299

例4 家/サンヒョク⇒ジンスク/ジンスク・진숙아 (ジンスク・jinsooka) / p.246

家の近所/チェリン⇒ジンスク/ジヒョンのママ・지현이엄마 (ジヒョンのママ・jihyeonieomma) / p.369

親族間の呼びかけ表現は日本語では違いがみられなかったが、韓国語では呼ぶ側と呼ばれる側の性別による違いがみられた (表3の第2話、第3話参照)。たとえば、韓国語の場合、両親を呼ぶ際、男性は「아버지/abeoji (15)」と「어머니/eomeoni (43)」といった呼びかけ表現を用いるが、女性は使わず、また女性は「아빠/appa (123)」、「엄마/eomma (28)」を使うのに男性はほとんど使わないといったことである。これらは日本語の場合、男性は「おやじ」と「おふ

くろ」といった呼び方をするが女性は使わないことや、女性には「パパ」、「ママ」を使う人もいるのに対して男性はあまり使わないことと同じような現象である。日本語にも性別による違いはあるが、このシナリオでは違いがみられなかった。

例5 ユジンの家/ユジン⇒母/おかあさん・엄마 (ママ・eomma) / p.35

式場のロビー/サンヒョク⇒母/かあさん・어머니 (おかあさん・eomeoni) / p.56

一方、夫婦間の呼びかけ表現は韓国語ではその違いがみられなかったが、日本語では男女差がみられた (表3の第20話参照)。韓国語で男女共に⑳「여보/yeobo」の代名詞呼びかけ表現を用いる場面では、日本語では妻が夫を呼ぶ際には「あなた」と呼びかけるのに対して、夫が妻を呼ぶ際は「おまえ」と呼びかけている。しかし、呉 (2004) では実際日本語の夫婦間の呼びかけでは「あなた (128)、おまえ (129)」などの代名詞はほとんど使用されず、「名前」の呼びかけが多く使われることが示されたことから、ここでも翻訳による直訳が影響していると考えられる。それにこのような現象は時代の影響や世代間の使用頻度の違いもあると思われる。

例6 家/サンヒョクの父⇒サンヒョクの母/おまえ・여보 (あなた・yeobo) / p.356

家/サンヒョクの母⇒サンヒョクの父/あなた・여보 (あなた・yeobo) / p.356

5.2 非日常生活での呼びかけ表現—職業名と親族名称

韓国語の呼びかけ表現の特徴としては日本語の呼びかけ表現に比べ、親族名称が多く使われる傾向がある。日本語の場合、非日常生活^[註5]での呼びかけ表現はその大部分が「すみません」や「あのう」といった呼びかけ表現をするのに対し、韓国語の呼びかけ表現は「おねえさん、おばさん、おじさん、お嬢さん」といった親族名称を用いるケースが大部分を占めている。今回のデータをも、バスの運転手や警察官 (表3の第1話参照)、写真館の主人 (表3の第17話)、民宿の主人 (表3の第18話) に対してそのような呼びかけ表現が用いられている。筆者が以前、調査したアンケートデータではみられなかった日本語での親族名

称の呼びかけ表現が今回のデータでみられたのは、最初に述べた翻訳者の観察が影響したものと考えられる。家族関係でないにもかかわらず家族関係に準じた呼称が広く使われている特徴を持つ韓国語の呼びかけ表現は、日本とは異なる社会的背景から成り立ったものといえる。鈴木(1973)は日本語の中にもこのような「親族名称の虚構的用法 (fictive use)」があると述べたが、その例はあまりみられず、むしろ韓国語により多くみられる。

これは言い換えれば、「職業名」が韓国語でも使われているのは確かであるが、日本語ほどではなく、韓国語より日本語でより多く用いられることを示唆する。今回のデータからは「おまわりさん」があげられ、日本語にはその他にも「八百屋さん」、「大工さん」、「駅員さん」、「運転手さん」などが使われるが、韓国語ではこのような「職業名」はあまりみられず、呼ぶ側の性別、年齢に関係なく「おじさん」や「おばさん」といった親族名称や「あのう」といった呼びかけ表現が多く用いられる。

例7 バスの中/ユジン⇒運転手/省略・아저씨 (おじさん・ajeossi) / p.18

警察署/ユジン⇒おまわりさん/おまわりさん・아저씨 (おじさん・ajeossi) / p.25

写真館/ジュンサン⇒写真館の主人/おじさん・아저씨 (おじさん・ajeossi) / p.306

民宿/ジュンサン⇒民宿の主人/おばさん・아주머니 (おばさん・ajumeoni) / p.325

次に注目したいのは職場での呼びかけ表現にみられる日韓の違いである。韓国の場合、話し手と聞き手の職業的な関係より年齢によって呼び方が決まるのに対して、日本の場合は年齢に関係なく職業的な関係を基準にしている。また韓国の場合、職場でも親族名称の呼び方が用いられることが特徴的である(表3の第6話、第7話、第13話参照)。

例8 食堂/ユジン⇒キム班長/おじさん・아저씨 (おじさん・ajeossi) / p.106

病院/ユジン⇒チョンア/チョンアさん・언니 (おねえさん・eonni) / p.119

会社/ミョン⇒キム次長/次長・선배 (先輩・seonbea) / p.242

本研究ではシナリオという限定されたデータを用いて用例を検証してみた

が、日韓両言語における呼びかけ表現のおよその使用傾向を観察することができたように思う。

6 まごめ

以上、観察したことをまとめると、次のような共通点と相違点が明らかになった。

- (1) 友達同士の呼びかけ表現は日韓共通で名前が多く用いられる。
- (2) 子供がいる両親同士の呼びかけ表現は日韓共通で「子供の名前+親族名称」が多く用いられる。
- (3) 両親への呼びかけ表現は韓国語の場合、男女差の違いがみられるが、日本語の場合は男女差がみられない。
- (4) 夫婦間の呼びかけ表現は韓国語の場合、男女差がみられないが、日本語の場合は男女差がみられる。
- (5) 非日常生活では日本語の場合、職業名が多く用いられるが、韓国語の場合、親族名称が多く用いられる。
- (6) 職場での呼びかけ表現は日本語の場合は職名が、韓国語の場合は親族名称が多く用いられる。

今回の資料は韓国語を日本語に翻訳したものであったため、韓国語をもとに日本語との違いを探ってみたが、同時に日本語を韓国語に翻訳したものを資料にすることも今後の課題としなければならない。また、今回の調査では特定の資料を分析の対象にしたため、必ずしも一般的な傾向であるとはいえないところもある。今後は他のシナリオ集や文学作品からも呼びかけ表現を調べ、より多くの資料を集めて日韓の呼びかけ表現の違いをより細かく、詳しく検討していきたい。

従来の日韓対照研究はそのほとんどが文法中心に行われてきたが、以前に比べてコミュニケーションを重視するようになった現在の外国語学習において、本研究の成果は円滑なコミュニケーションを目指すうえで非常に役に立つもの

だと思ふ。

〈大東文化大学大学院生〉

〈備考〉

本稿は2009年9月27日に学習院女子大学において行われた「日本語／日本語教育研究会」第1回大会で発表した原稿に修正を加えたものである。当日、諸先生方から貴重なご指摘をいただいたことに心より感謝申し上げます。

注

- [注1] …… 南 (1979) 「階層差と待遇表現」による7つの分類の詳細は次のとおりである。
- 1) 封建社会における身分制度あるいは階層化された社会的地位によるもの
 - 2) 年齢の上下関係
 - 3) 職場での経歴による関係や学校での先輩・後輩の関係
 - 4) 職場での職位の有無による関係
 - 5) 人種差別や性差別との関係
 - 6) ある集団の中での指導力の有無 (4との区別がつきにくい場合もある)
 - 7) 心理的な力関係すなわち店員と客、先生と学生などの関係
- [注2] …… 「呼格助詞」とは韓国語特有のもので、韓国では名前を呼ぶ際に名前だけを用いることはほとんどなく名前の後ろに呼格助詞を用いる。
- [注3] …… 「関係名称」とは話し手と聞き手の関係を表す名称のことである。
- [注4] …… 本来の使用と違い、職場での自分より年上の人に対して「おねえさん」と呼びかけることや見知らぬ人に対して「おじさん」と呼びかけることなどがその例である。
- [注5] …… 陳内 (1986) によると親族、学校、職場、近所付き合いの他の場面で普段声をかける機会が少ない相手、見ず知らずの人、熟練の要る専門を身につけた相手との会話のときをいう。

参考文献

【日本語文献】

- 今村洋美 (1996) 「よびかけ表現」 田中春美・田中幸子 (編) 『社会言語学への招待』 pp.113-124. ミネルヴァ書房
- 呉秀賢 (2004) 「日本語と韓国語における呼びかけ表現の考察—親族と非日常生活を中心に」 大東文化大学大学院修士論文 (未公開)
- 国広哲弥 (1990) 「呼称の諸問題」 『日本語学』 9(9), pp.4-7. 明治書院
- 鈴木孝夫 (1971) 「言語における人称の概念について1」 『言語文化研究所紀要』 2, pp.141-

156. 慶応義塾大学

- 鈴木孝夫 (1973) 「人を表すことば」 『ことばと文化』 岩波新書
- 鈴木孝夫 (1979) 「呼称選択行動の方法論的考察をめぐって」 『言語文化研究所紀要』 11, pp.165-175. 慶応義塾大学
- 鈴木孝夫 (2009) 『日本語教のすすめ』 新潮社
- 陳内正敬 (1986) 「日本語の呼び掛け語」 『文学研究』 83, pp.149-161. 九州大学
- 新居田純野・南春彦・アラム佐々木幸子 (編) (2003) 「呼称について」 『言語学と日本語教育』 ころしお出版
- 日向茂男 (1983) 「呼びかけ」 『話し言葉の表現』 筑摩書店
- 南不二男 (1979) 「階層差と待遇表現」 『言語生活』 328, pp.18-28. 筑摩書房
- 林炫情・玉岡賀津雄 (2003) 「職場における「お兄さん」および「お姉さん」の親族名称使用に関する日韓対照研究」 『日本文化学報』 18, pp.21-35. 韓国日本文化学会

【韓国語文献】 (下段は日本語訳である)

- 김미정 (1995) 「한·일양국의 호칭에 관한 고찰」 『日語学報』 35, pp.111-126.
- キム ミジョン (1995) 「韓日両国の呼称に関する考察」 『日語学報』 35, pp.111-126.
- 김태엽 (2003) 「국어부름말의 문법」 우리말글학회
- キム テヨブ (2003) 「国語呼びかけ語の文法」 ウリマル学会
- 김하경 (1999) 「직종별 여성호칭의 한일 비교고찰」 계명대학교대학원 석사논문
- キム ハキョン (1999) 「職種別女性呼称の韓日比較考察」 啓明大学大学院修士論文
- 김혜숙 (1993) 「현대국어의 사회언어학적 연구」 태학사
- キム ヘスク (1993) 「現代国語の社会言語学的研究」 テハクサ
- 이익섭·이상익·채완 (2003) 『한국의 언어』 신구문화사
- イイクソプ・イサンイク・チェワン (2003) 『韓国の言語』 シングムンファサ
- 박정운 (1997) 「한국어 호칭어 체계」 『사회언어학』 5(2), pp.507-527.
- パクジョンウン (1997) 「韓国の呼称語体系」 『社会言語学』 5(2), pp.507-527.
- 정재도 (1998) 「부름말」 『국어생활』 19, pp.61-73. 국어연구소
- ジョンジェド (1998) 「呼びかけ語」 『国語生活』 19, pp.61-73. 国語研究所
- 홍민표 (2003) 「한·일양국인의 직장내의 호칭에 관한 사회언어학적 고찰」 『日語日文学研究』 45, pp.161-180.
- ホンミンビョウ (2003) 「韓日両国人の職場での呼称に関する社会言語学的考察」 『日語日文学研究』 45, pp.161-180.

【分析資料】

- 『「冬のソナタ」で始める韓国語シナリオ対訳集』 安岡朋子翻訳 キネマ旬報社 (2003)

【参考資料】 表3 シナリオ集にみられた呼びかけ表現

番号	場面	話し手 (呼ぶ側)	聞き手 (呼ばれる側)	韓国語(読み方/直訳)	日本語	p.
第1話						
1	バス停付近	ユジン	サンヒョク	상혁아(サンヒョクア/名前+呼格助詞)	サンヒョク	18
2	バス停付近	ユジン	サンヒョク	김상혁(キムサンヒョク/姓+名前)	キム・サンヒョク	18
3	バスの中	ユジン	運転手	아저씨(アジョシ/おじさん)	省略	18
4	見知らぬ場所	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと)	ちょっと	19
5	学校前の坂道	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと)	ちょっと	19
6	教室	チンスク	ユジン	야,야(ヤ/ちょっと)	ねえ、ねえ	19
7	教室	先生	学生	애들아(イエデッラ/みんな)	みんな	19
8	教室	先生	学生	반장(バンジャン/班長)	学級委員長	20
9	教室	サンヒョク	ジュンサン	강준상(カンジュンサン/姓+名前)	カン・ジュンサン	21
10	廊下	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと)	ちょっと	21
11	廊下	ユジン	ジュンサン	강준상(カンジュンサン/姓+名前)	カンジュンサン	21
12	大学の教室	教授	学生(ジュンサン)	거기 학생(コギハクセン/そこの学生)	そこの学生	22
13	大学の教室	教授	学生(ジュンサン)	자네(ジャネ/君)	君	23
14	教室前の廊下	教授	学生(ジュンサン)	자네(ジャネ/君)	君	23
15	教室前の廊下	サンヒョク	父	아버지(アボジ/お父さん)	父さん	23
16	学校の扉	ジュンサン	ユジン	야(ヤ/ちょっと)	おい	24
17	学校の扉	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと)	ほら	24
18	学校の扉	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと), 강준상	ねえ、カンジュンサン	25
19	警察署	ユジン	警察	아저씨(アジョシ/おじさん)	おまわりさん	25
20	警察署	警察	ジュンサン	너(ノ/君、あんたなど)는	君は	25
21	警察署	警察	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと) 이놈아(イノマ/この野郎)	おい、君	26
22	公園のベンチ	ユジン	ジュンサン	너(ノ/君、あんたなど)는	ねえ	27
23	公園のベンチ	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと), 강준상	ねえ、カンジュンサン	27

24	公園のベンチ	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと), 강준상	ちょっと、カンジュンサン	27
25	講堂	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと)	ちょっと	28
26	講堂	ジュンサン	ユジン	정유진(チョンユジン/姓+名前)	チョン・ユジン	28
第2話						
28	ユジンの家	ユジン	母	엄마(オンマ/母さん、ママ)	お母さん	35
29	ユジンの家	ユジン	母	엄마(オンマ/母さん、ママ)	お母さん	35
30	ユジンの家	母	ユジン	유진이 너(ノ/君、あんたなど)	ユジン、あんた	35
31	放送室の前	サンヒョク	ジュンサン	너(ノ/君、あんたなど)	おまえ	35
32	放送室の前	ユジン	ジュンサン	너(ノ/君、あんたなど)	省略	36
33	山小屋の外	チンスク	ヨングク	너(ノ/君、あんたなど)	ちょっと	38
34	ユジンの家の前	ユジン	ジュンサン	있잖아, 저기(イッジャナ、ジョギ/あのう)	あの	44
35	教授の研究室	ジュンサン	教授	교수님(キョスニム/教授)	教授	46
第3話						
36	学校	ユジン	ジュンサン	야(ヤ/ちょっと)	ちょっと	50
37	湖	チュリン	ユジン	너(ノ/君、あんたなど)	あなた	52
38	会社	チョンア	スンリョン	야(ヤ/ちょっと)	ほら	52
39	会社	ユジン	スンリョン	생략(センリヤク/省略)	ねえ	52
40	放送局	DJ	サンヒョク	김피디(キムピディ/キムPD)	キム・プロデューサー	53
41	会社	チョンア	スンリョン	야(ヤ/ちょっと)	ちょっと	55
42	会社	チョンア	スンリョン	잘생긴 승룡이(ジャルセンギンスンニョン/カッコいいスンリョン)	カッコいいスンリョン	55
43	婚約式の式場のロビー	サンヒョク	母	어머니(オモニ/お母さん)	母さん	56
44	婚約式の式場のロビー	サンヒョクの母	サンヒョク	너(ノ/君、あんたなど)	サンヒョク	56
45	婚約式の式場のロビー	サンヒョクの母	ユジンの母	유진어머니(ユジニオモニ/ユジンのお母さん)	ユジンのお母様	56
46	婚約式の式場のロビー	サンヒョクの父	ユジンの母	사부인(サブイン/お義母様)	お義母様	56
47	婚約式の式場のロビー	ユジンの母	サンヒョクの父	사돈어른(サドンオルン/お義父様)	お義父様	56

48	婚約式の式場のロビー	ユジンの母	ユジン	이것아 (イコサ/この子)	ユジン	57
49	高校の運動場	ヨングク	サンヒョク	김상혁군 (キムサンヒョククン/姓+名+君)	キム・サンヒョク君	60
50	放送室	チェリン	ミニョン	민형씨 (ミニョンシ/名+氏)	ミニョンさん	61
51	放送室	ヨングク	チンスク	저기 (ジョギ/あのう)	あの	61
第4話						
52	ミニョンの事務室	ミニョン	ユジン	채린이 친구 (チェリンイチング/チェリンの友達)	チェリンの友達	64
53	ミニョンの事務室	ミニョン	ユジン	정유진씨 (チョンユジンシ/姓+名+呼格助詞)	チョン・ユジンさん	65
54	ミニョンの事務室	ミニョン	ユジン	저, 저기 (ジョ, ジョギ/あのう)	あ、あの	65
55	ミニョンの事務室	ユジン	ミニョン	이사님 (イサニム/理事+呼格助詞)	理事	70
56	スキー場の駐車場	責任者	チェ代理	최대리 (チェデリ/姓+職級)	チェ代理	70
57	ユジンの家の前	サンヒョク	ユジン	너 (ノ/君、あんたなど)	君は	76
58	ユジンの家の前	ユジン	サンヒョク	저기 (ジョギ/あのう)	あのね	76
第5話						
59	ジャズバー	チョンア	ユジン	야아 (ヤア/ちょっと)	ちょっと	92
60	ジャズバー	チョンア	ミニョン	이사님 (イサニム/理事+呼格助詞)	省略	92
第6話						
61	ホテル	ユジン	ミニョン	너 (ノ/君、あんたなど)	あなた	96
62	会議室	ユジン	ミニョン	이것 보세요 (イコッポセヨ/ちょっとみてください)	ちょっと	99
63	ユジンの家	ユジン	チンスク	친구 (チング/友よ)	わが友	100
64	ユジンの家	ユジン	チンスク	야 (ヤ/ちょっと)	ねえ	100
65	ユジンの家	チンスク	ユジン	너 (ノ/君、あんたなど)	あんた	100
66	ホテル	チョンア	キム・次長	김차장님 (キムチャジャンニム/姓+職級+呼格助詞)	キム・次長	104
67	食堂	キム・次長	キム・班長	저기, 김반장님 (ジョギ, キムバンジャンニム/あのう, 姓+職業名+呼格助詞)	あの、キム班長	105

68	食堂	ユジン	キム・班長	아저씨 (アジョシ/おじさん)	おじさん	106
第7話						
69	病室	ユジン	チョンア	언니 (オンニ/お姉さん)	チョンアさん	119
第8話						
70	ホテル	ヨングク	チェリン	야 (ヤ/ちょっと) 너 (ノ/君、あんたなど)	おい、おまえ	136
71	サンヒョクの家	チェリン	サンヒョクの母	어머니 (オモニ/お母さん)	おばさま	143
72	サンヒョクの家	サンヒョクの父	サンヒョクの母	여보 (ヨボ/あなた)	おまえ	145
第9話						
73	レストラン	サンヒョク	DJ	선배 (ソンベ/先輩)	先輩	155
74	レストラン	DJ	サンヒョク	김상혁 프로듀서 (キムサンヒョクプロデュサ/姓+名+職業名)	キム・サンヒョクさん	154
75	レストラン	サンヒョクの父	サンヒョクの母	당신 (ダンシン/あなた)	おまえ	164
第10話						
76	レストラン	ヨングク	ユジン	야 (ヤ/ちょっと)	おい	177
77	病室	ユジン	医者	선생님 (ソンセンニム/先生)	先生	183
第11話						
78	コンサート控え室	サンヒョクの父	サンヒョク	너 (ノ/君、あんたなど)	おまえ	189
79	コンサート控え室	スタッフ	ジュンサンの母	선생님 (ソンセンニム/先生)	先生	190
80	コンサート控え室	女子記者	ジュンサンの母	선생님 (ソンセンニム/先生)	先生	192
81	ホテルの部屋	ジュンサンの母	ミニョン	너 (ノ/君、あんたなど)	おまえ	197
第12話						
82	ピアノバー	キム次長	ミニョン	야 (ヤ/ちょっと)	ちょっと	205
83	ピアノバー	キム次長	ミニョン	너 (ノ/君、あんたなど)	理事	205
84	高校	サンヒョク	先生	선생님 (ソンセンニム/先生)	先生	209
85	道端	サンヒョク	ユジン	너 (ノ/君、あんたなど)	ユジン	213
86	道端	サンヒョク	ユジン	너 (ノ/君、あんたなど)	君	213

87	チェリンの事務室	チェリン	ユジン	정유진 신부님 (チョンユジンシンブニム/姓+名+新婦+呼格助詞)	新婦のチョン・ユジンさん	214
88	カフェバー	ヨングク	ミニョン	저, 이민형씨 (チョ、イミニョンシ/あのう、姓+名+呼格助詞)	あの、イ・ミニョンさん	218
第13話						
89	カフェバー	サンヒョク	ミニョン	당신 (ダンシン/あなた)	あんた	222
90	放送室	ヒジン	ユジン	언니 (オンニ/お姉さん)	お姉ちゃん	228
91	放送室	ユジン	ヒジン	희진아 (ヒジンア/名+呼格助詞)	ヒジン	228
92	放送局	サンヒョク	DJ	선배 (ソンベ/先輩)	省略	231
93	放送局	男性職員	サンヒョク	김PD (キムピディ/姓+職業名)	キムさん	232
94	チェリンの事務室	チンスク	ユジン	신부님 (シンブニム/新婦+呼格助詞)	新婦さん	233
95	ユジンの家の前	ユジン	サンヒョクの父	아버님 (アボニム/お父様)	お父様	235
96	高校教務室の前	先生	チェリン	어 너 (ノ/君、あんたなど)	おおまえは	239
97	高校教務室の前	チェリン	先生	서선생님 (ソンセンニム/先生)	せー先生	239
98	高校教務室の前	先生	ユジン	너 (ノ/君、あんたなど)	おまえ	239
第14話						
99	ミニョンの会社	キム次長	ミニョン	너 (ノ/君、あんたなど)	理事	242
100	ミニョンの会社	ミニョン	キム次長	선배 (ソンベ/先輩)	次長	242
101	ミニョンの会社	キム次長	ミニョン	자식 (ジャシク/野郎)	理事	242
102	ミニョンの会社	チョンア	ユジン	야 (ヤ/ちよっと)	ねえ	243
103	治療室の前	ユジン	ジュンサンの母	준상이 어머니 (ジュンサンイオモニム/ジュンサンのお母さま)	ジュンサンのお母さん	252

104	治療室の前	ジュンサンの母	ユジン	아가씨 (アガシ/お嬢様)	お嬢さん	252
105	治療室の前	ジュンサンの母	キム秘書	김비서 (キムビソ/キム秘書)	キムさん	253
第15話						
106	サンヒョクの家	サンヒョクの母	サンヒョクの父	여보 (ヨボ/あなた)	あなた	265
107	サンヒョクの家	サンヒョクの母	サンヒョク	너 (ノ/君、あんたなど)	おまえ	265
第16話						
108	放送局	サンヒョク	ユジンの母	어머니 (オモニ/お母さん)	お母さん	278
109	放送局	ユジンの母	サンヒョク	상혁아 (サンヒョクア/名前+呼格助詞)	サンヒョク	279
第17話						
110	喫茶店	ユジンの母	サンヒョクの父	상혁이 아버지 (サンヒョクイアボニム/サンヒョクのお父様)	サンヒョクのお父さん	299
111	喫茶店	サンヒョクの父	ユジンの母	유진이 어머니 (ユジニオモニ/ユジンのお母さん)	ユジンのお母さん	299
112	ユジンに家	ジュンサン	ユジンの母	어머니 (オモニ/お母さん)	お母さん	301
113	ユジンに家	ユジンの母	ユジン	너 (ノ/君、あんたなど)	あなた	303
114	スキー場	ユジン	ジュンサン	있잖아 (イッジャナ/あのね)	あのね	305
115	写真館の前	ジュンサン	ユジン	정유진씨 (チョンユジンシ/姓+名+呼格助詞)	チョンユジンさん	306
116	写真館	写真館の主人	ユジン	여자분 (ヨジャプン/女性の方)	女性の方	306
117	写真館	写真館の主人	ジュンサン	남자분 (ナムジャプン/男性の方)	男性の方	306
118	写真館	ユジン	写真館の主人	아저씨 (アジョシ/おじさん)	省略	306
119	街	サンヒョク	ジュンサン	야 (ヤ/ちよっと), 임마 (イムマ/野郎)	おい、この野郎	309
第18話						
120	教会	サンヒョク	ユジン、ジュンサン	너희 (ノヒ/あなたたち)	お前たち	316
121	海辺	ユジン	ジュンサン	너 (ノ/君、あんたなど)	ねえ	321

122	民宿	ジュンサン	民宿の 主人	아주머니 (アジュモニ／お ばさん)	おばさん	325
第19話						
123	父の墓所	ユジン	父	아빠 (アバ／父さん)	お父さん	342
124	ジュンサンの 家	ジュンサン	サンヒョク の父	교수님 (キョスニム／教授 +呼格助詞)	先生	347
125	放送局の廊下	DJ	サンヒョク	김피디 (キムピディ／キムPD)	キムさん	350
126	放送局の廊下	DJ	サンヒョク	생략 (省略)	おい	350
第20話						
127	サンヒョクの 家	サンヒョク の母	サンヒョク	애 (イェ／あのう)	ちょっと	356
128	サンヒョクの 家	サンヒョク の母	サンヒョク の父	여보 (ヨボ／あなた)	あなた	356
129	サンヒョクの 家	サンヒョク の父	サンヒョク の母	여보 (ヨボ／あなた)	おまえ	356
130	ヨングクの家 の近所	サンヒョク	子供	지현아 (ジヒョンア／名+ 呼格助詞)	ジヒョン	368
131	ヨングクの家 の近所	チェリン	チンスク	지현이 엄마 (ジヒョニオン マ／子供の名+母)	ジヒョンのママ	369
132	家の外	管理人	ジュンサン	저 (ジヨ／あのう)	あの	372